

平成 30 年度

地域課題解決型学習プログラム指導者養成研修①

生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅱ① 実施報告

実施日：平成 30 年 8 月 30 日（木）

○ 講話「地域課題の実態」 宇都宮大学教育学部家政教育専攻 教授 陣内 雄次 氏

陣内先生は住居学、都市計画学を専門とされ、住まいやまち環境、まちづくりに関する研究に取り組まれています。

講話では、まず受講者が考えている地域課題について確認し合いました。そこから、地域課題は同じ市町内でも異なることや、その人の立場によっても異なることを押さえました。自分が考える地域課題について受講者同士で話し合ったり、課題を地域の広さや重要度を考慮して模造紙に貼ったりし、受講者同士、それぞれがとらえている課題について確認し合いました。



○ 説明・演習「本県の地域課題と地域課題解決型学習プログラムについて」

栃木県教育委員会事務局生涯学習課 課長補佐 井上 昌幸



平成 25 年 12 月に実施した、本県の地域課題の認識状況の調査結果をもとに、地域性やその背景、さらに地域課題解決型学習プログラムについて、井上課長補佐から説明がありました。そして、今後の社会教育においては、住民同士で地域課題の解決を目指しながら地域づくりを進めることの大切さや、「地域元気プログラム」の活用について、話がありました。

【受講者の感想から】

- ・地域によって課題は違うけれど、お互い課題に対して向き合えるような環境を作れたらいいなと思いました。
- ・地域課題の本質をとらえることの大切さ、課題の共有のために“根拠”を示すことの大切さを学びました。
- ・「今表面化している地域課題の10年後を考えなくてはいけない。」というお話をきいて、その通りだなと改めて気付かされました。つい目の前のことを考えがちだが、先々を見る視点を地域の人にもってもらうように仕向けていくことも指導者として求められるのかなと思いました。
- ・地域元気プログラムの活用ができそうなので、ありがたかったです。



研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 E-mail: shogai-c@tochigi-edu.ed.jp

